

## ながさきファミリープログラムについて

Q 1 「ながさきファミリープログラム」とはどのような内容か。

A 1 ワークショップを通して、参加者同士が自分の体験や考えを自由に出し合いながら子育てについて楽しく学ぶ参加型学習プログラムです。  
子育ての不安や悩みを和らげながら、ヒントを見つけていくことができます。

Q 2 「ながさきファミリープログラム」が創設された時代的背景は

A 2 平成23年度に県の福祉保健部こども未来課で考案・事業開始しました。

当時の社会背景は人口減少や少子高齢化、家族形態・生活様式の多様化などの急激な社会の変化に伴って子育てに悩む保護者や悩みを相談する人が身近にいない保護者の割合が増加傾向にありました。

これらの子育て家庭を取り巻く様々な問題に対して当時こども政策局が、子育て家庭の新たな支援方法として親育ちプログラム「ながさきファミリープログラム」をつくりあげ、県内各地へ活用を広めました。

その後、平成30年度 県の生涯学習課に事業を移管しました。

Q 3 「ながさきファミリープログラム」を実施する目的は

A 3 親としての学びや親子の育ち合いを支援する取組の一つです。

家庭を取り巻く環境が様々に変化する中（少子化、核家族化、共働き家庭の増加、人間関係の希薄化など）、子育てに悩みや不安を抱える保護者の方が増えていきます。子育ての問題も多様化しており、保護者が子育てについて話し合ったり、相談したり、学んだりする場が必要となっています。コロナ禍の中では、周りの人に相談する機会がなく孤立する保護者がいるのも課題です。

プログラムの中で出されたアイデアや気づきを一つでも子育てや親子・親同

士のコミュニケーションに生かしていただければ幸いです。

**Q 4** 「ながさきファミリープログラム」を体験しやすくするために、どのような工夫をしているか。

**A 4** ファシリテーターという進行役が楽しい雰囲気を作って話し合いが円滑に行われるように支援をします。

また、参加者が安心してプログラムに参加できるようにするため、話し合いの「ルール」として、「相手の意見を否定しない」「言いたくないことは言わなくてよい」「秘密を守る」などの約束を決めています。参加者が気持ちよく、楽しく参加できることが大切です。

また、コロナ禍の中での活動では感染防止の対策も工夫して実施しています。

**Q 5** 「ながさきファミリープログラム」を体験した参加者に期待すること。

**A 5** 参加した方が子育てに対して安心感や前向きな気持ちを持つことができ、参加者同士で新しい仲間に出会って、つながりができれば嬉しく思います。また、保護者同士はもちろんですが、子育てを応援してくれる地域や学校、行政、企業ともつながり、誰もが安心して子育てができるまちづくりが進むことも期待します。

**Q 6** 「ながさきファミリープログラム」を受講された方々の反応、あるいは感想など

**A 6** 学校の入学説明会、授業参観後の親子の話し合い、地区懇談会などでファミプロを活用されたところがあります。参加者の声には「みんな同じようなことで悩んでいるんだ」など共感できたことの安心感や「人と話すことの大切さを知った」など、交流の中でつながりを深めているものがあります。

(具体例な感想)

- ・ 普段あまり話さない親同士でグループワークができたことで、新鮮な意見が聴けてとてもよかった。楽しくあっという間だった。
- ・ 共通の問題について親子で話し合い、いろいろな意見が出てとてもよかった。
- ・ ほかの保護者の方も同じだと気付いた。自分だけではないと少し安心したし、一緒に対策を考えることができ有意義な時間だった。
- ・ 自分では短所だと思ったことを上手に言い換えてくれてうれしかった。

**Q 7** 今後「ながさきファミリープログラム」をどのような場面で活用していきたいと思うか。

**A 7** 時間、テーマ、方法、人数など柔軟に対応できることがファミプロのいいところ。学級懇談会、入学説明会、先生方の研修など小グループの集まりにも生かします。

また、「子育て」に限らずファミプロの手法を活かした話し合いによって、学習内容を充実させたり仲間づくりをしたりすることもできます。

P T A だけでなく、子どもたちの授業や自治会などの会合、民間企業の研修、ママ友の集まりなど幅広く活用してほしいと思います。

興味を持たれた方はぜひ社会教育課にご相談ください。